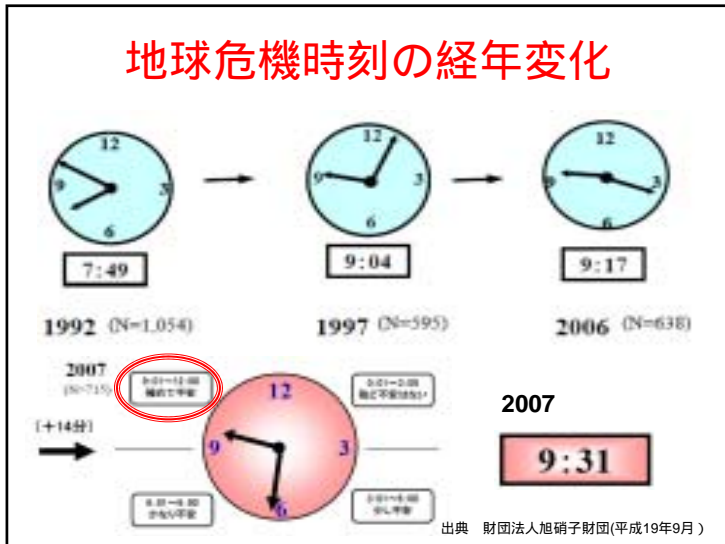


市民力で進めるレジ袋ないない運動〜三重モデル



1. 地球環境の近未来像
2. 私たちの役割
3. いまなぜレジ袋なのか？
4. 認識共同体の構築

朴 恵淑 (3R推進マイスター
 三重大学学長補佐・人文学部教授・
 三重県地球温暖化防止活動推進センター長)





ハリケーン カトリナは上陸(2005年8月29日)直前に、中心気圧902ヘクトパスカル、最大風速約75メートル、最大瞬間風速約90メートルを記録。風速25メートル以上の暴風域は半径約220キロに及んだ。

- ・死者: 1300人(気象庁資料)
- ・経済への影響: 米連合は既に2度の補正予算を組み、計623億ドルのハリケーン対策費を計上。財政赤字は必須。
- ・保険金支払額: 最大344億ドル(保険サービスオフィス(ISO)の調査、ロイター通信05.10.4) 米国史上最大
- ・物流: 大豆等を輸出する物流拠点の機能マヒ(穀物輸出の60%がミシシッピ川経由)
- ・農産物の被害: 9億ドル(米農務省発表)
- ・原油価格の高騰: ガソリン価格 2.61ドル(8月最終週) 3.07ドル(9月第1週)

アメリカの元副大統領アル・ゴアが、地球温暖化の危機を訴え、温暖化防止に向けた一人ひとりの行動を呼びかける映画 (2007年1月20日より日本公開) 「地球温暖化は世界で現実になっている事実である。対策を取らない人々にとっては、不都合な真実である。」

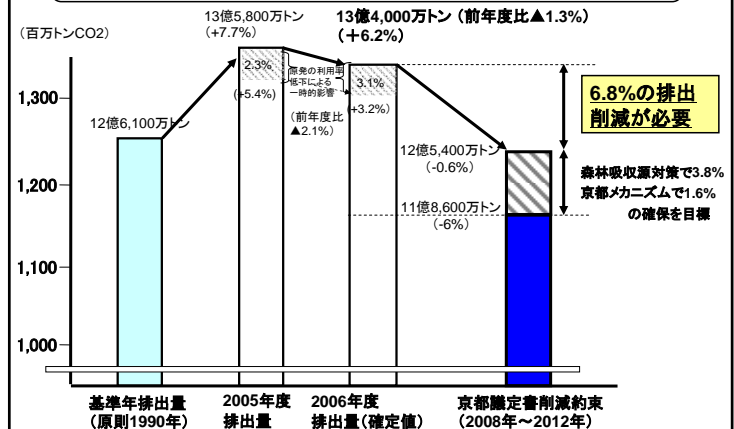
COP3 温暖化防止京都会議 (1997.12.1 - 11)



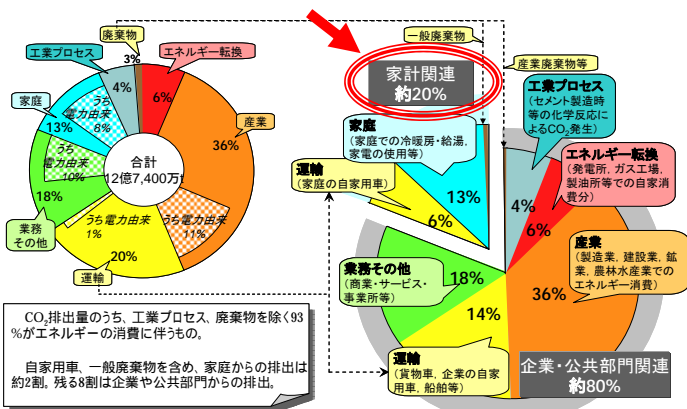
EU -8% USA -7% Japan -6%

日本の温室効果ガス排出量と京都議定書の遵守

2006年度における日本の温室効果ガス排出量は、基準年比6.2%上回り、議定書の6%削減約束の達成には、6.8%の排出削減が必要。



排出形態別・管理主体別の二酸化炭素排出量 (2006年度)



1人1日1kgのCO2削減運動

(平成19年7月3日官房長官記者発表)

政府では、京都議定書の目標達成に向けた国民運動の展開が重要であるとし、「1人1日1kg」の温室効果ガスの削減をモットーとして、ライフスタイルの見直しや、家庭と職場での努力や工夫を呼びかけています。

私のチャレンジ宣言

「1人1日1kgのCO₂削減」に向けて、一人ひとりが、身近な取組の中から実践してみようと思うものを選択し、CO₂削減に向けて宣言する「私のチャレンジ宣言」を実施中。

チャレンジ宣言数 595,985件
(平成20年4月21日現在)

【チャレンジ宣言項目の例】

- ・冷房時の設定温度を26℃から28℃に2℃高くする → 83g CO₂削減
- ・冬の暖房時の設定温度を22℃から20℃に2℃低くする → 96g CO₂削減
- ・シャワーを1日1分短くする → 14g CO₂削減
- ・風呂の残り湯を洗濯にまわす → 7g CO₂削減
- ・入浴は間隔をあけずに **レジ袋1枚?** → 86g CO₂削減

応援キャンペーン

「私のチャレンジ宣言」に参加する人々に数々のメリットを提供することを通じて、温暖化防止のための国民運動の飛躍的拡大を目指しています。(平成20年4月28日現在、協賛企業236社)

また、著名人がクールアースアンバサダー(現在96名)として温暖化防止を訴えています。



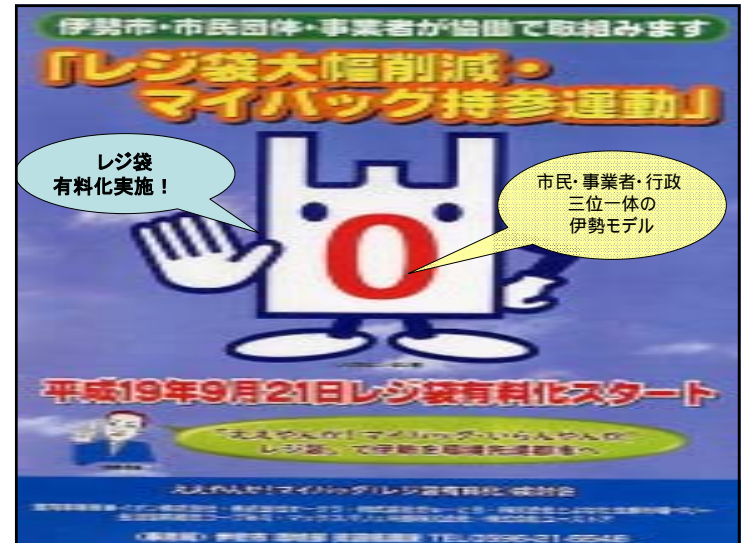
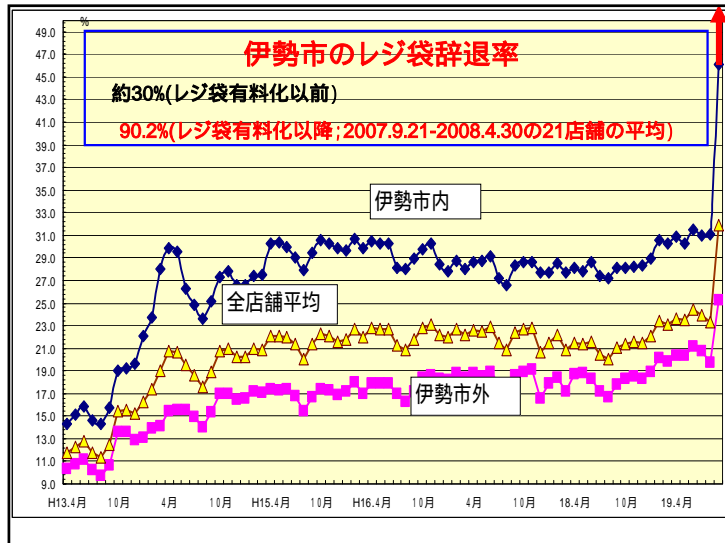
四日市公害の過去・現在・未来



四日市公害県から「環境先進県」へ

住民力で「環境先進県」三重県を！ ～レジ袋ないない運動～

- ・三重県内のレジ袋の年間使用量
約5億6千万枚 日本年間流通量約300億枚
- ・一人あたり年間約300枚
- ・原油約1,120万リットル(200リットルドラム缶
約5万6千本)
1枚あたり原油約20ml
日本の年間レジ袋の原油使用量約6億リットル
日本の1日あたりの原油輸入量約7億リットル
- ・1枚あたり単価2 - 5円
(年間約20億円)
- ・二酸化炭素排出量(1枚あたり約100g)
約56,000トン



伊勢モデル;全市域のスーパーのレジ袋一斉有料化
(10万人規模都市の全国初)2007.9.21



ええやんか!
伊勢環境活動
基金
70-80万円

13万人の伊勢市の
年間レジ袋使用量
約3,900万枚 →
約3,500万枚
(約90%削減)

すごい! 省資源効果!



「環境先進大学」三重大学
環境ISO活動・3R運動

平成20年度容器包装3R環境大臣賞
優秀賞受賞!!!

3R Activities

(Reduce/Reuse/Recycle)

1. Eco-Bag Project (Charge of Plastic Shopping Bag in COOP)
2. Illegally Parked Bicycle Project
3. Toilet Roll from Used Paper Project

Stop! Global Warming

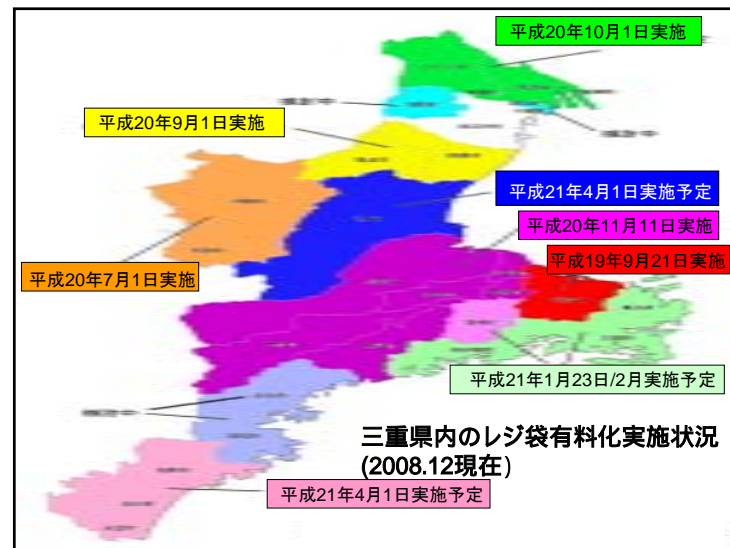
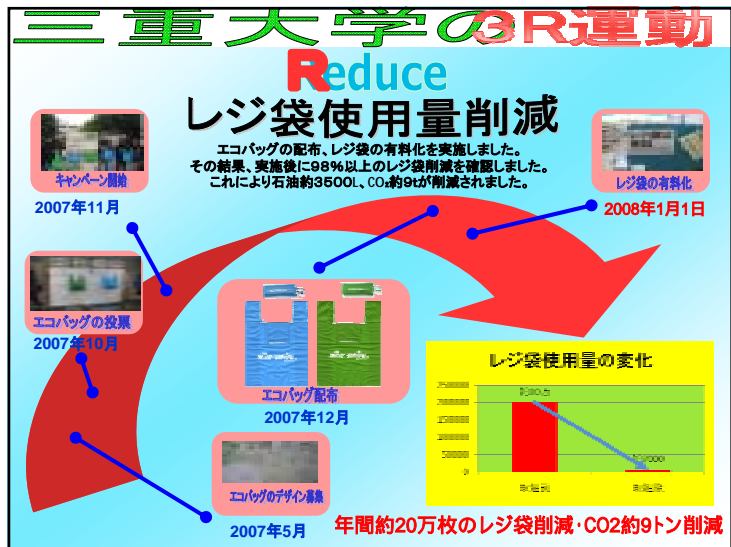
Sustainable Society



大学の社会的責任(USR)



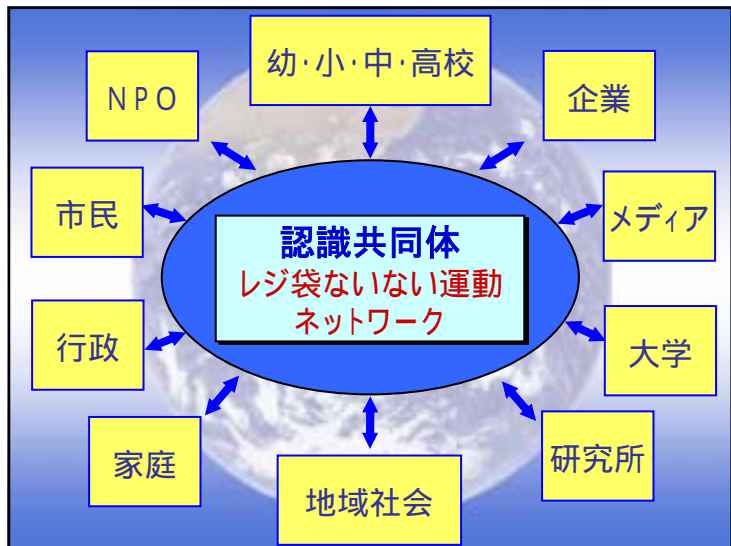
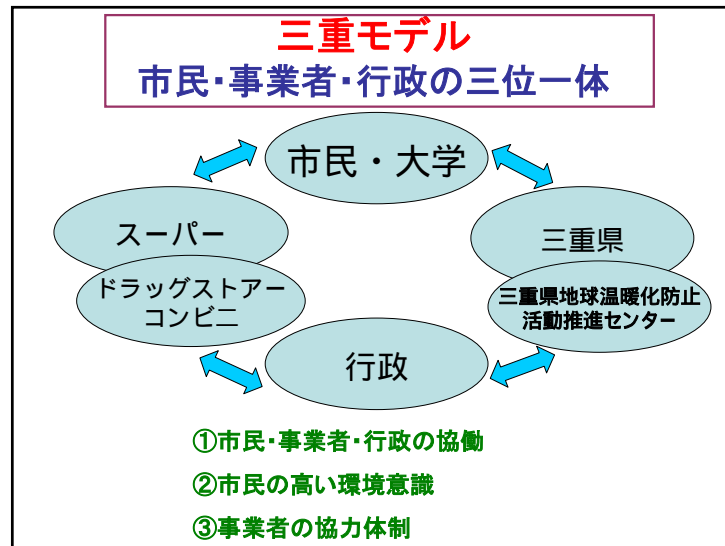
平成20年度容器包装3R環境大臣賞優秀賞/平成20年度質の高い大学教育GP採択
3R活動 (Reduce/Reuse/Recycle)・三重ブランド環境教育(教育GP)



三重モデル

伊勢モデル→ 市域全スーパーでのレジ袋有料化(日本初;2007.9.21)
 伊賀モデル→行政区域を超えた広域(伊賀+名張)のレジ袋有料化(日本初;2008.7.1)
 亀鈴モデル→広域(亀山+鈴鹿)・多事業者間のレジ袋有料化(2008.9.1)
 桑名モデル→広域(桑名+員弁+東員+木曽崎)・多事業者間のレジ袋有料化(2008.10.1)
 松阪モデル→広域(松阪+多気+明和+大台+玉城+大紀)・多事業者間のレジ袋有料化(2008.11.11)
 津モデル→ スーパー+ドラッグストア+コンビニ(日本初;2009.4.1予定)

桑名モデル
 亀鈴モデル
 伊賀モデル
 津モデル
 松阪モデル
 伊勢モデル



「21世紀環境立国・日本戦略」

平成19年6月1日閣議決定

低炭素社会
 持続可能な社会
 循環型社会
 自然共生社会

資源採取・利用・廃棄の過程
 生産・消費の過程
 地球温暖化への対応の過程

・「環境と開発に関する世界委員会(1987)報告書「我ら共有の未来」で提唱された「持続可能な社会」の実現に向けた取組は、未だ不十分であり、世界共通の課題。
 ・「持続可能な社会」の実現には、一人一人の取組の輪を広げ、力強く後押ししていくことが必要。